



コミュニケーション支援プログラム

ことのは



ご本人の「自立支援」を第一に考えた サービスの仕組みづくりをめざします。

くらし

介護を要する状態になると、生活が一変することはやむを得ません。センターでは、障害を前向きにとらえ、これからの人生をどのように歩んでいきたいかにスポットをあてます。

こころ

たとえ体が思うように動かなくなっても、ご本人の自己決定を尊重することはもっとも大切なこと。そのために、ご本人およびご家族が、主体的に生活の目標を立て、その目標達成に向けて生活できるように支援していきます。

からだ

介護する側の過剰支援が、ときにご本人の要介護度を重くしてしまうことがあります。センターでは的確に身体能力を見極め、残存する力を引き出すように支援し、ご本人の活動性を高めていきます。



コミュニケーションを促進し豊かな気持ちで暮らしていただくことを応援します。

これまでの失語症のリハビリテーションは、障害が起きたことばの情報処理の機能を、できるだけ病気前の状態に戻そうという視点を中心に訓練がおこなわれてきました。このような機能訓練もちろん重要ですが、失語症の多くはその経過が長期にわたるため、ことのはでは別の視点からの取り組みも必要と考えています。それが「失語症を受け入れて豊かな気持ちで生活する」という考え方です。

失語症は、ご本人のみならず身近な存在であるご家族にもコミュニケーションにおいて不自由さをもたらします。したがって失語症によるコミュニケーション障害への対処は、失語症の方がそれを克服しようと努力するだけでなく、ご家族も失語症そのものの症状とコミュニケーション障害の特徴を正確に理解すること、そしてコミュニケーションを促進する方法を身につけることが必要です。





仲間との会話やグループ訓練を通じて コミュニケーションの機会を広げます。

仲間づくり

ことのはでは、自宅で生活している失語症の方へ
継続した訓練(グループ訓練)をおこなうと同時に、主体的・意欲的に
取り組むことができる趣味活動や仲間づくりを支援しています。

社会性向上

ことばを理解する、話す、書くなどの言語機能の訓練だけでなく、
買い物の計算や時刻表の理解など、実際の生活に基づいた訓練を
おこなうことで社会性を身につけていきます。

専門家支援

ことのはの時間は、失語症とその対応を十分に理解したケアスタッフが
個別に訓練を実施。専門家の支援によって適切な訓練や活動を
繰り返しおこなっていくことができます。

※ご本人からの参加の希望があることが必須要件です。※集団活動にストレスなく参加できる方が対象になります。



【ネーミング&シンボルマークについて】

「ことのは」は言葉の意味で、ひとつひとつの「ことのは=言葉=思い」を大切にしたいというサービスの理念を表現しています。シンボルマークは、「は(葉)」をモチーフとして、向かい合う2枚の葉で「コミュニケーションの重要性」を表現しました。カラーは、成長をイメージさせる葉のグリーンを使用し、コミュニケーション力の向上への願いが込められています。

オアシスセンターは、在宅サービスを総合的に提供しています。

- デイサービス
 - 一般型デイサービス
 - 介護予防デイサービス
 - 認知症対応型デイサービス
- 訪問看護
- 訪問介護
- 福祉用具貸与・販売



サービスに関するお問い合わせや日常のコミュニケーションでお困りのことがございましたらオアシスセンターまでご相談ください。



オアシスセンター

〒467-0864 名古屋市瑞穂区豆田町3-11-2

お問い合わせ先

052-884-8510

www.sekisui-oasis.com